

# 2019年度 公開学習会「是梅陀羅」 開催要項

私たちが依りどころとする浄土三部経の一つ『仏説観無量寿経』（以下、『観経』）には、「是梅陀羅」（聖典91頁）という言葉がございます。

1922年全国水平社設立以来、宗門はこの「是梅陀羅問題」について指摘を受け続け、2013年には「部落解放同盟広島県連合会」より「現代の聖典 学習の手引き」における「是梅陀羅」の語註に関して問題提議がなされました。

浄土教は、称名念仏によって個人の各別性を超えて浄土に往生する教えであります。そのことを韋提希という一人の人間を通して具体的に説く『観経』において、各方面から差別的表現との指摘をうける由縁、またその問題の所在はどこにあるのでしょうか。

この度、開催される公開学習会「是梅陀羅」は北海道教区において初めての取り組みです。一切衆生に説かれる経典において差別的表現があること、また何が私たちに問われているのかということ講義を通して学び、考えていきたいと思えます。

皆様方のご参加、心よりお待ちしております。

**研修趣旨** 『仏説観無量寿経』に説かれる「梅陀羅」について学習し、何を問題としているのかを学ぶ。

**日 時** 2020年2月17日（月）16時より（受付：15時30分）

**会 場** 東本願寺会館（北海道教務所）2階 講堂  
（札幌市中央区南7条西7丁目290

☎011-511-5211）

**講 師** 阪本 仁 氏（本山解放運動推進本部 本部委員）

講題：対話を求めて

～ 経典の中のことは“梅陀羅”問題から問われること ～

鶴見 晃 氏（本山教学研究所 所員）

講題：『観無量寿経』（是梅陀羅問題について）

スタッフ 岩城 芳文（第15組 敬信寺 同朋教化部門幹事）  
伊藤 智秀（第4組 明德寺 研修部会部会長）  
奥村 翔（第4組 選教寺） 奥田 和寛（第11組 法光寺）

事務局 鷲嶺 彰宏・中西 志香（教区駐在教導）

参加対象 僧侶・寺属

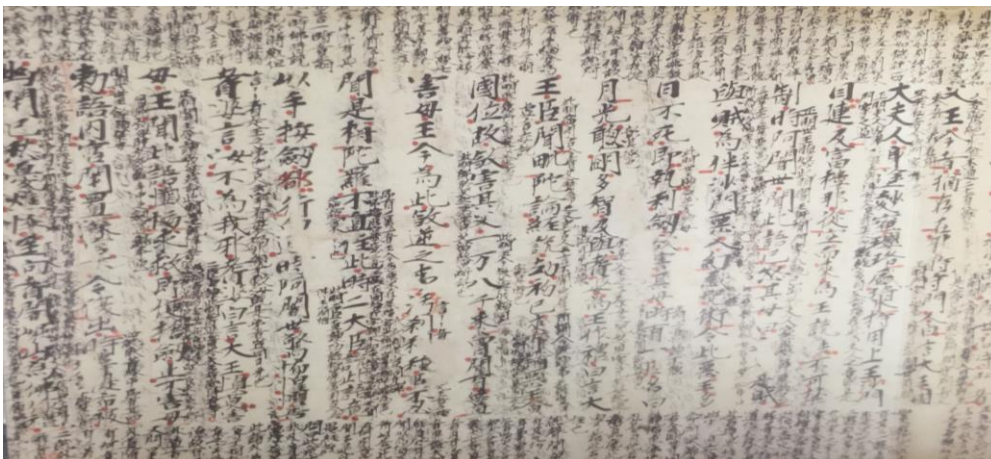
参加費 無料

持参品 真宗聖典、筆記用具

事前資料 『真宗』2017年3月号

## 【日程】

- 15時30分～ 受付
- 16時～ 開講式
- 16時15分～ 講義①（阪本 仁氏）
- 17時15分～ 休憩
- 17時30分～ 講義②（鶴見 晃氏）
- 18時30分～ 質疑・応答
- 19時～ 閉講式



以上